

# 美術科 学習指導案

国立大学法人 愛知教育大学附属名古屋中学校

美術科研究主題

## 主題を追求し実現することができる 生徒を育む美術科の授業

- ◎ 公開授業 9:50～10:40 （オンラインでの公開）  
第2学年 題材「FUZOKU公園をデザインしよう」  
～造形美と機能性の調和～
- ◎ 研究協議会 授業終了後～11:40 （オンライン）

授業者 山田 索

### 【美術科 授業のねらい】

「中間鑑賞会」での意見交換を通して、主題が「工夫ポイント」を活用して表現されているかを振り返らせる。拡散的思考と収束的思考を適切に働かせることができたかや、「モニタリング」の方法が適切であったかなどを活動の様子やワークシートの記述から検証する。

## 第2学年A組 美術科学習指導案

令和3年11月18日(木) 第2時限

指導者 山田 索

### 1 題材「FUZOKU公園をデザインしよう ～造形美と機能性の調和～」(17時間完了)

#### 2 題材の構想

##### (1) 題材について

本題材は、附属幼稚園、附属小学校、附属中学校の3附属で生活する子どもたちが、公園で遊ぶことでどのように成長できるかというコンセプトを基に主題を設定し、造形美と機能性を意識しながら公園をデザインし、模型で表現する題材である。4名のグループで相談し、自分たちの生活や、隣接する小学校や幼稚園の生活に思いを巡らし、対象とする年齢層とどのように成長して欲しいかという思いを基に主題を設定させる。そこから個人で主題を実現するために必要な、遊具やモニュメント、ベンチなどのデザインを考えさせ、グループでアイデアを持ち寄って、公園全体のデザインにつなげてさせていく。共通の主題を表すためにグループで協力して制作させていくことで意見交換が深まり、発想や構想を練る場面をよりよいものにしていくことができると思う。また、デザインを考えるだけでなく、模型を制作させ、公園全体の配置や構成を考えさせることで、具体的なイメージをもたせながら考えることにもつなげていきたい。

本題材では創意工夫して主題を追求させていくために、「形」「配色」の2点を「工夫ポイント」として設定する。本題材における「形」とは、形が与える印象や効果を理解し、主題を表すために、造形美(見た目の楽しさや美しさ)と機能性(使用する際の分かりやすさや使いやすさ)を意識して効果的に形をつくることを表す。「配色」とは、色が与える印象や効果を理解し、主題を表すために、造形美(見た目の楽しさや美しさ)と機能性(使用する際の分かりやすさや使いやすさ)を意識して効果的に色を配置、構成することを表す。また、「形」「配色」を活用する上で、グラデーションやアクセント、コントラストをはじめとする構成美の要素も意識させることで、デザインに広がりや深まりが出るようにする。題材全体を通して、主題を表すために「形」「配色」を造形美と機能性をどのように調和させて活用することが効果的であるかということを考えさせていく。

##### (2) 指導目標【知】知識・技能 【思】思考・判断・表現 【態】主体的に学習に取り組む態度】

- |     |  |
|-----|--|
| 【知】 | 主題を表すために「形」「配色」を活用することの効果を理解し、記述している。<br>主題を表すために「形」「配色」を活用して、材料や用具をいかして制作している。  |
| 【思】 | 主題を基に、「形」「配色」を活用して、アイデアを発想し構想を練っている。<br>自他の作品を鑑賞し、主題を表すための「形」「配色」の活用の仕方を見付け、具体的な文章で記述している。                               |
| 【態】 | 主題を表すために「形」「配色」を意識し、試行錯誤を繰り返して、表現を振り返りながら見直しをもって表そうとしている。<br>主題を表すために「形」「配色」を意識し、様々な作品などの工夫を見付け、感じ取ったことを基に表現を振り返ろうとしている。 |

(3) 指導計画

| 場     | 時                     | 主な学習活動               | 指導上の留意点   |
|-------|-----------------------|----------------------|---|
| つかむ場  | ①                     | 題材をつかむ<br><br>「形」を学ぶ | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本題材が、附属幼稚園、附属小学校、附属中学校の3附属で生活する子どもたちが、公園で遊ぶことでどのように成長できるかというコンセプトを基に主題を設定し、公園をデザインして模型で表現する題材であることを伝える。</li> <li>○ 構成美の要素を含み、造形美や機能性を意識して考えられた様々な物の形を鑑賞させ、それぞれの形から与えられる印象や効果に気付かせる。</li> <li>○ 対象年齢を考え、造形美を重視したイスと、機能性を重視したイスの形を描かせることで、造形美と機能性を意識した形を学ばせる。</li> </ul> |
|       | ②                     | 「配色」を学ぶ              | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 構成美の要素を含み、造形美や機能性を意識して考えられた様々な物の色を鑑賞させ、それぞれの色から与えられる印象や効果に気付かせる。</li> <li>○ 前時に描いた、造形美を重視したイスと、機能性を重視したイスの色を塗らせることで、造形美と機能性を意識した色を学ばせる。</li> </ul>   |
|       | ③                     | 主題を生み出す              | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 4名のグループで相談し、自分たちの生活や、隣接する小学校や幼稚園の生活に思いを巡らし、対象とする年齢層とどのように成長して欲しいかという思いを基に、生み出させた主題をワークシートに記述させる。</li> </ul>  |
| 追求する場 | ④                     | 発想する<br>【拡散的思考】      | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生み出した主題を基に、グループの中で公園に必要な遊具、モニュメント、ベンチなどの分担を決めさせ、「形」「配色」を活用させながら、アイデアスケッチを発想させる。</li> </ul>   |
|       | ⑤                     |                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 発想の途中で参考作品などを示し、「形」「配色」の活用の仕方に気付かせた上で、活用の仕方を変えて複数のアイデアを考えることができているかを問い掛けることで、新たなアイデアスケッチを発想することができるようにさせていく（「拡M①」）。</li> <li>○ 主題を表すために「形」「配色」がどのように活用されているかをワークシートに記述させ、それを振り返らせながら表現の見通しをもたせていく（「拡M①」）。</li> </ul>   |
|       | ⑥                     | 中間鑑賞会1<br>【拡散的思考】    | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 発想されたアイデアスケッチを基に、クラス全体のアイデアスケッチを鑑賞させる、中間鑑賞会（第1回）を行う。主題が「形」「配色」を活用して表現されているかに着目させ、自分がよいと思うところをワークシートに記述する活動を行わせることで、参考になりそうなアイデアを見付けさせていく（「拡M②」）。</li> </ul>  |
|       | ⑦                     | 中間鑑賞会2<br>【拡散的思考】    | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 発想されたアイデアスケッチを基に、グループ内で意見交換を行わせる、中間鑑賞会（第2回）を行う。主題が「形」「配色」を活用して表現されているかなどの意見交換させ、ワークシートに記述する活動を行わせることで、「工夫ポイント」の新たな活用の仕方に気付かせていく（「拡M②」）。</li> </ul>   |
|       |                       | 構想する<br>【収束的思考】      | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 構想を練る際、中間鑑賞での友達の意見や気付いたことを、どのように取り入れるかを取捨選択するように促した上で、アイデアスケッチを見直させていくことで、より主題が表れるアイデアの構想を練ることができるようにさせていく（「収M①」）</li> </ul>   |
|       | ⑧                     |                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 決定したアイデアスケッチに、主題を表すためにどのように「形」「機能」が活用されているかをワークシートに記述させ、それを振り返らせながら表現の見通しをもたせていく（「収M①」）。</li> </ul>  |
|       | ⑨                     | 本制作をする<br>【収束的思考】    | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 主題を表すために材料や用具をいかして作品を制作させる。</li> </ul>   |
|       | ⑩                     |                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 表現を振り返りながら見通しをもちやすくするために、小グループの隊形で制作をさせ、いつでも互いの作品の鑑賞や、意見交換をできるようにさせる。</li> </ul>   |
|       | ⑪<br>⑫<br>⑬<br>⑭<br>⑮ |                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本制作の作品に、主題を表すために「形」「配色」をどのように活用しているかをワークシートに記述させ、それを振り返らせながら見通しをもたせていく（「収M②」）。</li> <li>○ 制作途中に友達の作品の鑑賞を促し、主題を表すための「形」「配色」の活用の仕方や、材料や用具のいかし方などを見付けさせ、それを基に表現を振り返らせながら見通しをもって表現させていく（「収M②」）。</li> </ul>   |

|                            |        |          |   |
|----------------------------|--------|----------|---|
| ふ<br>り<br>か<br>え<br>る<br>場 | ⑯<br>⑰ | 最終鑑賞会を行う | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本制作をして完成した作品について発表させ、自他の作品を鑑賞させる最終鑑賞会を行い、主題を表すために「形」「配色」を活用していくことがどのように効果的だったかを振り返らせ、ワークシートに記述させる（「拡・収RM」）。</li> <li>○ 題材全体を振り返らせ、主題を追求していくにあたって、アイデアスケッチを複数発想したり、中間鑑賞会での意見交換を参考に構想を練ったり、主題を表すために「形」「配色」がどのように活用されているかを振り返りながら本制作をしたことが、主題を実現することにつながったかを振り返らせ、ワークシートに記述させる（「拡・収RM」）。</li> </ul> |
|----------------------------|--------|----------|---|

(3) 評価基準表

| 時<br>場   | 主な学習の活動                           | 評<br>価 | 知識・技能   | 思考・判断・表現   | 主体的に学習に取り組む態度  |   |
|--|-----------------------------------|--------|---|--|--|---|
| ①<br>②<br>③<br>つか<br>か<br>む<br>場                         | ○ 「形」「配<br>色」を学ぶ<br>○ 主題を生み<br>出す | A      | 「形」「配色」の効<br>果を理解し、具体的に<br>記述している。  | /  | 「形」「配色」を意識し、<br>試行錯誤を繰り返して、表現<br>を振り返りながら見直しをも<br>って表そうとしている。<br>「形」「配色」を意識し、<br>様々な作品の工夫を見付け、<br>感じ取ったことを基に表現を<br>振り返ろうとしている。 |   |
|  |                                   | B      | 「形」「配色」の効<br>果を理解し、記述して<br>いる。  |  | 「形」「配色」を意識し、<br>試行錯誤を繰り返して表そう<br>としている。<br>「形」「配色」を意識し、<br>様々な作品の工夫を見付けよ<br>うとしている。  |   |
|  |                                   | 方<br>法 | ・ワークシート   |  | ・活動の様子<br>・ワークシート  |   |
| ④<br>⑤<br>⑥<br>⑦<br>⑧<br>追<br>求<br>す<br>る<br>場           | ○ 発想し構想<br>を練る                    | A      | 「形」「配色」を意<br>識し、それらの活用の<br>仕方が伝わるように、<br>用具をいかして丁寧に<br>アイデアスケッチを制<br>作している。 | 主題を基に、「形」「配色」を<br>活用して、アイデアを発想し構想<br>を練っている。<br>友達アイデアスケッチを鑑賞<br>し、「形」「配色」についての活<br>用の仕方のよいところを見付け<br>たり、アドバイスを伝えたりして<br>いる。 | A  | 主題を表すために「形」<br>「配色」を意識し、試行<br>錯誤を繰り返して、表現<br>を振り返りながら見直し<br>をもって表そうとしてい<br>る。<br>主題を表すために「形」<br>「配色」を意識し、様々<br>なアイデアスケッチや作<br>品の工夫を見付け、感じ<br>取ったことを基に表現を<br>振り返ろうとしている。 |
|  |                                   | B      | 「形」「配色」を意<br>識し、それらの活用の<br>仕方が伝わるようにア<br>イデアスケッチを制作<br>している。                | 主題を基に、「形」「配色」の<br>いずれかを活用して、アイデアを<br>発想し構想を練っている。<br>友達アイデアスケッチを鑑賞<br>し、「形」「配色」についての活<br>用の仕方のよいところを見付け<br>ている。              | B  | 主題を表すために「形」<br>「配色」を意識し、試行<br>錯誤を繰り返して表そう<br>としている。<br>主題を表すために「形」<br>「配色」を意識し、様々<br>なアイデアスケッチや作<br>品の工夫を見付けよう<br>としている。  |
|  |                                   | 方<br>法 | ・ワークシート   | ・ワークシート  | 方<br>法   | ・活動の様子<br>・ワークシート   |
| ⑨<br>⑩<br>⑪<br>⑫<br>⑬<br>⑭<br>⑮<br>追<br>求<br>す<br>る<br>場 | ○ 本制作をす<br>る                      | A      | 主題を表すために、<br>「形」「配色」を活用<br>して、材料や用具をい<br>かして制作している。                         | 主題を表すために「形」「配色」<br>がどのように活用されているかを<br>鑑賞したり振り返ったりし、具体<br>的に記述している。   | B  | 主題を表すために「形」<br>「配色」を意識し、試行<br>錯誤を繰り返して表そう<br>としている。<br>主題を表すために「形」<br>「配色」を意識し、様々<br>なアイデアスケッチや作<br>品の工夫を見付けよう<br>としている。  |
|  |                                   | B      | 主題を表すために、<br>「形」「配色」のいず<br>れかを活用して、材料<br>や用具をいかして制作<br>している。                | 主題を表すために「形」「配色」<br>がどのように活用されているかを<br>鑑賞したり振り返ったりし、記述<br>している。   | B  | 主題を表すために「形」<br>「配色」を意識し、試行<br>錯誤を繰り返して表そう<br>としている。<br>主題を表すために「形」<br>「配色」を意識し、様々<br>なアイデアスケッチや作<br>品の工夫を見付けよう<br>としている。  |
|  |                                   | 方<br>法 | ・作品<br>・ワークシート  | ・ワークシート  | 方<br>法   | ・活動の様子<br>・ワークシート   |
| ⑯<br>⑰<br>ふ<br>り<br>か<br>え<br>る<br>場                     | ○ 最終鑑賞会<br>を行う                    | A      | 主題を表すために<br>「形」「配色」を活用<br>することの効果を理解<br>し、記述している。                           | 自他の作品を鑑賞し、主題を表<br>すための「形」「配色」の活用の<br>仕方を見付け、具体的な文章で記<br>述している。   | 「形」「配色」を意識し、<br>様々な作品の工夫を見付け、<br>感じ取ったことを基に表現を<br>振り返ろうとしている。<br>「形」「配色」を意識し、<br>様々な作品の工夫を見付けよ<br>うとしている。                      |   |
|  |                                   | B      | 主題を表すために<br>「形」「配色」のいず<br>れかを活用することの<br>効果を理解し、記述し<br>ている。                  | 自他の作品を鑑賞し、主題を表<br>すための「形」「配色」の活用の<br>仕方を見付け、文章で記述してい<br>る。   |  |   |
|  |                                   | 方<br>法 | ・ワークシート   | ・ワークシート  |  | 方<br>法  |

### 3 本時の指導（7 / 17）

#### (1) 指導の意図

本時は、「追求する場」において発想をしたことを基に中間鑑賞（第2回）をし、意見交換をすることで構想へとつなげていく、拡散的思考から収束的思考へと切り替わる場面である。

まず、前時までに個々で考えた遊具やモニュメント、ベンチなどのアイデアスケッチを基に、グループ内で意見交換を行わせる。グループの主題を基に、それぞれのアイデアが「形」「配色」を活用して表現されているかなどの意見交換させ、ワークシートに記述する活動を行わせることで、「工夫ポイント」の新たな活用の仕方に気付かせていく（「拡M②」）。意見を伝える際に、「形」に関する意見と、「配色」に関する意見のペンの色を分けて、アイデアスケッチの上にかぶせたクリアファイルに直接記入させることで、より意見の意図が伝わりやすいようにする。

次に、伝えられた意見を基にアイデアの最終版の構想を練る活動を行う。構想を練る際、中間鑑賞での友達の意見や気付いたことを、どのように取り入れるかを取捨選択するように促した上で、アイデアスケッチを見直させていくことで、より主題が表れるアイデアの構想を練ることができるようになっていく（「収M①」）構想を練る際には、個人のアイデアスケッチをよりよいものにしていくとともに、グループの他のメンバーが考えたアイデアとのバランスも考えさせ、公園全体のデザインとしてよりよくなるように取捨選択させていく。

この構想を練る場面を通して、生徒たちは本制作への見通しをもつことができ、「形」「配色」を活用しながら、主題を創造的に表すことができると考える。

#### (2) 本時の目標

**思** 主題を基に、「形」「配色」を活用して、アイデアを発想し構想を練っている。

自他の作品を鑑賞し、主題を表すための「形」「配色」の活用の仕方を見付け、具体的な文章で記述している。

**態** 主題を表すために「形」「配色」を意識し、試行錯誤を繰り返して、表現を振り返りながら見通しをもって表そうとしている。

主題を表すために「形」「配色」を意識し、様々な作品などの工夫を見付け、感じ取ったことを基に表現を振り返ろうとしている。

#### (3) 準備

教師：ワークシート、クリアファイル、色ペン、えんたくん（円形段ボール）、参考作品

生徒：教科書、資料集、色鉛筆

#### (4) 指導過程

| 時間 | 主な学習の流れ                         | 指導上の留意点及び評価（ <b>評</b> …評価の観点）   |
|----|---------------------------------|---|
| 3  | 1 本時のねらいを知る                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 前時につくったアイデアスケッチを小グループで鑑賞し合いながら意見交換することで、より主題が表れるものにしていくことを伝える。</li> <li>○ 本題材の「工夫ポイント」は、造形美と機能性を意識した「形」「配色」であることを再確認する。</li> </ul> |
|    | アイデアスケッチを見直し、より主題に合ったデザインにしていこう |   |
| 7  | 2 参考作品について全体で鑑賞する               | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 2つのアイデアスケッチを参考作品として前面スクリーンに提示する。</li> <li>○ アイデアスケッチをそれぞれ比較させ、どちらの表</li> </ul>   |

|    |                 |   |
|----|-----------------|---|
|    |                 | <p>現がより主題を表せているかを考えさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 主題が表されているかについての、「形」「機能」を意識した意見を称賛し、次の活動につなげられるようにする。</li> </ul>  |
| 25 | 3 中間鑑賞会をする      | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 小グループで鑑賞し合い、一人のアイデアスケッチに対して5分程度で鑑賞、意見交換をさせる。</li> <li>○ 小グループの机を向かい合わせ、その中心にえんたくん（円形段ボール）を置かせることで、距離を保たせながらグループでの話し合いをしやすくさせる。</li> <li>○ 自分のアイデアスケッチの工夫を伝え合わせる。</li> <li>○ 主題が「形」「配色」を活用して表現されているかなどの意見交換させ、ワークシートに記述する活動を行わせることで、「工夫ポイント」の新たな活用の仕方に気付かせていく（「拡M②」）。</li> <li>○ 「形」に関する意見と、「配色」に関する意見のペンの色を分けて、アイデアスケッチの上にかぶせたクリアファイルに直接記入させることで、より意見の意図が伝わりやすいようにする。</li> </ul> <p><b>態</b> 主題を表すために「形」「配色」を意識し、様々な作品などの工夫を見付け、感じ取ったことを基に表現を振り返ろうとしている。</p> <p><b>思</b> 自他の作品を鑑賞し主題を表すための「形」「配色」の活用の仕方を見付け、よいところやアドバイスを具体的な文章で記述している。</p> |
| 15 | 4 アイデアスケッチを決定する | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 構想を練る際、中間鑑賞での友達の意見や気付いたことを、どのように取り入れるかを取捨選択するように促した上で、アイデアスケッチを見直させていくことで、より主題が表れるアイデアの構想を練ることができるようにさせていく（「収M①」）</li> <li>○ 構想を練る際には、個人のアイデアスケッチをよりよいものにしていくとともに、グループの他のメンバーが考えたアイデアとのバランスも考えさせ、公園全体のデザインとしてよりよくなるように取捨選択させていく。</li> </ul> <p><b>態</b> 主題を表すために「形」「配色」を意識し、試行錯誤を繰り返して、表現を振り返りながら見通しをもって表そうとしている。</p> <p><b>思</b> 主題を基に、「形」「配色」を活用して、アイデアを発想し構想を練っている。</p>   |